

仙北市民の皆さま、新年あけましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

さて昨年とても多かつたことがクマの出没と選挙でした。4月6日に秋田県知事選挙、秋田市長選挙が行われ、共に新しく鈴木健太秋田県知事、沼谷純秋田市長が当選されました。国政では7月20日に参議院通常選挙で自民・公明連立与党が過半数を失い、当時の石破総理が辞任に追い込まれました。それに伴い10月4日には自由民主党総裁選挙が行われ、高市早苗さんが初めて女性から総裁に選出され、日本国リーダーとなられました。

新年のごあいさつ

仙北市長 田口 知明



てまいります。

改めまして2025年の仙北市を振り返りますと、8月19日から21日にかけて降り続いた雨は、8月1か月間の平均降水量を

超える319ミリとなり、上松木内地区および松木内地区で、床上浸水家屋が17棟、床下浸水家屋が19棟、農地・農業用施設や農作物の被害が約23億5千万円と甚大な被害をもたらしました。

国や県、近隣市町村や地元建設業をはじめ、団体、企業、ボランティアなどたくさんの皆さまからご支援をいただき、災害からの復興も確実に進んできています。また全国から多くの義援金が寄せられており、温かいご支援に心から感謝を申し上げます。

仙北市では10月19日に市長選挙が行われ、市民の皆さまから再び市長にお選びいただき、初代石黒直次さん、第2代門脇光浩さんに引き続き、第3代仙北市長として10月30日より田口市政の2期目をスタートさせていただきました。同月には横手市長選挙、にかほ市長選挙も行われ、まさに選挙イヤーの1年でした。

秋田県、岩手県をはじめ全国各地でクマによる人身被害が多発し、多くの人命が失われ、仙北市内では10月23日に全国で6番目の実施となつた「緊急銃獣」を市街地で実施する事態となりました。冬眠しないアーバンベアの存在も確認されており、冬期間でもクマ出没への警戒を十分に行つた

口約3万2千人でスタートした仙北市でしたが、現在は2万2千人台まで減少し、保育園や幼稚園、小・中学校や公立病院、公共交通などへの影響が年々大きくなっています。65歳以上の人口比である高齢化率も45パーセントを超越しております。

これは仙北市に限ったことではありませんが、人口減少や少子高齢化がもたらす影響として、人手不足による産業の衰退や、税収の減少による行政サービスの低下など、その地域の人々の暮らしに暗い影を落とし、希望を失う要因と思われがちですが、私は決してそうではないと思つております。むしろ2万2千人でも幸せに暮らせるまちをつくることは十分に可能であり、大都市にはない魅力あふれる仙北市をこの4年間で市民の皆さまと実現したいという強い思いと覚悟を持って、今後の市政運営にあたつてしまります。

そのために取り組むべき方針として、

①安心して子育てができるまちの実現

②若年層が暮らしやすい・若年層にとつて魅力溢れるまちの実現

③仙北市の魅力を広げる産業振興の実現

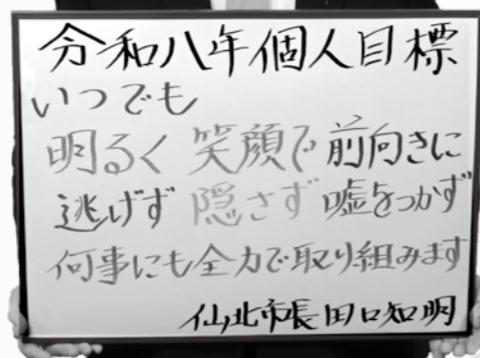
④美しいまちの実現

⑤関係人口の増加と地域の活性化

⑥ふるさとを愛し誇れる人づくり

⑦公共施設・公共交通などの計画的な立て替え・更新

⑧だれもが楽しく暮らせる福祉・医療施策



令和八年個人目標
いつでも笑顔で前向きに
明るく隠さず嘘つかず
逃げず何事にも全力で取り組みます
仙北市長田口知明

の拡充
⑨市政に市民がより参加できるかけづくりの拡充
⑩台風・大雨・雪害などの気候変動への強化推進
⑪骨太な行財政の構築
⑫選ばれる観光地の実現
⑬以上、12の方針とそれにそつた36の具体的な戦略を推進してまいります。

私たち仙北市役所にとって一番大切なことは、市民の皆さまの命と生活を守ることであり、これは私が目指す市民幸福度向上の根幹です。そして将来に希望がもてるまちづくりは、次世代へ地域を継承していくために絶対に欠かせない取り組みです。今年も直面する課題や問題から目を背けずにつっかりと向き合い、確実に1つひとつ解決し、同時に希望につながるさまざまなチャレンジを積極的に行つてまいりますので、市民の皆さまには2026年も市政運営へのご理解と共に、さまざまな場面においてご意見やご協力をいただきますよう、何とぞ宜しくお願い申し上げます。

そして仙北丸の乗組員の仲間として、幸福度全国ナンバーワンという目的地へ向けてすばらしい年となりますよう心からお祈りを申し上げまして、私からの新年のご挨拶とさせていただきます。

2026年が皆さまやご家族にとりましてすばらしい年となりますよう心からお祈りを申し上げまして、私からの新年のご挨拶とさせていただきます。

3